

東三河地域会員懇談会 開催報告

中経連は毎年度、会員の皆様からの意見を今後の事業活動に生かすことを目的に地域会員懇談会を開催している。1月15日（水）愛知県豊橋市にて、水野会長、神野副会長をはじめ、東三河地区の会員を中心に25名が参加し、懇談会を開催した。

冒頭、水野会長の挨拶に続き、江口様（愛知県副知事）と浅野様（サテコーポレーション理事）から東三河地区の魅力と今後の発展施策についてお話しいただいた後、活発な意見交換が行われた。参加者からの主な発言は以下のとおり。

《参加者からの主な発言》

（1）人材不足について

- ・ 田原地区に自動車向けの部品工場を構えているが、「人手不足」の問題を実感している。この課題を解決するためには、外国人労働者だけでなく、多種多様な人材に労働参画してもらうことが必要になる。愛知県としても危機感を共有し、具体的な方策をともに検討することをお願いしたい。
- ・ 人材については、若い世代が地元に戻ってこないという課題を抱えている。採用活動においても、都会に出た若者が戻らない傾向がある。企業としての魅力向上だけでなく、まち全体や東三河地域の魅力を積極的に発信していく必要があると考えている。

（2）防災について

- ・ 明海埠頭の懸念事項としては、非常時や災害時における埠頭機能の維持・回復が挙げられる。大規模災害が発生して埠頭の機能が失われた場合、物流に大きな影響が及ぶ。愛知県保安管理者とも相談を行っているが、民間企業として予算を超えて対応することは難しい。埠頭機能の維持に対して直接的な支援はないが、税制優遇措置などがあれば助かると考えている。

